

試験名

成人急性骨髄性白血病の発症・進展および治療反応性、副作用に関する遺伝子異常の網羅的解析研究 (JALSG AML209GWS)

研究事務局：清井 仁（名古屋大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科学）

概要・目的

成人急性骨髄性白血病（AML）の発症・進展ならびに抗がん剤治療における反応性、治療薬剤に起因する副作用発症に関する分子異常をゲノムワイドの網羅的な解析を行うことによって同定し、分子病態に基づく新たな予後層別化システムならびに最適な治療選択アルゴリズムを構築することを目的とする。

更に、層別化システムに基づく個別化治療法を検証するための臨床試験の提案ならびに新たに同定された異常分子の機能解析により新たな分子標的療法の開発へと発展させる。

対象

- JALSG AML209GS 試験への登録症例で本研究について、文書による本人の同意が得られている症例（20歳未満の患者においては親権者である代諾者の同意もあわせて必要とする）。
- AML209GS 試験登録後、既に JALSG AML209-FLT3-SCT 試験または JALSG CBF-AML209-KIT 試験に登録された症例も対象とする。

ただし、AML209GS 試験登録後、各施設で不適格例と判断された症例（診断が ALL であった場合、PML-RARA キメラ遺伝子陽性例などが該当する）や AML209GS 試験登録後、本付随研究開始時に死亡している症例は対象としない。

目標症例数

1000 例